

生物学国際交流センター評価委員会 議事要旨

日 時：令和7年2月14日（金）13：30～14：28

場 所：生物学国際交流センター 5階 セミナー室

出席者：藤山委員長（交流セ）、本田教授（交流セ）、渡邊教授（工）、馬越教授（基工）、
住村教授（グローバルイニシアティブ）

陪席者：前田評価・広報係長、荒木特任事務職員（交流セ）

議 事

（報告事項）

1. 生物学国際交流センターについて

a. 予算状況【資料1】

藤山委員長から、配付資料に基づき、センターの予算状況について報告があった。

2. 教員の活動について【資料2-1～資料2-4】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度におけるセンター所属教員の教育、学内運営、社会貢献、研究、会議運営、講演・講義、学会発表、論文発表等の諸活動状況について報告があった。

3. 運営について

(1) 受入留学生の人数について【資料3】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度は24名の留学生を受け入れることができた旨報告があった。

(2) JASSO 協定派遣／受入について【資料4】

藤山委員長から、配付資料に基づき、派遣については24名の学生を海外に送ったこと、また、受入については2期に分けて11名の学生を本学に受け入れることができた旨報告があった。

(3) JST さくらサイエンスプランについて【資料5】

藤山委員長から、配付資料に基づき、日本・アジア青少年サイエンス交流事業での参加者交流活動（7名の参加）の報告があった。

(4) OU-ASEAN バイオテクノロジースクール（仮称）について【資料6】

藤山委員長から、配付資料に基づき、事業の背景と目的、令和6年度の実施内容及び令和7年度の受け入れ予定についての報告があった。

(5) エラスムス・プラスについて【資料7】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度の実施内容についての報告があった。

(6) 学生及び研究員の短期の受入れ【資料8】

藤山委員長から、配付資料に基づき、特別研究学生等を13名受け入れたことについて報告があった。

(7) クロス・アポイントメント（外国人教員の受入）の期間変更と資金の獲得について【資料9】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度のクロス・アポイントメントによる2名の外国人教員の受入について報告があった。

(8) 学術交流協定について【資料10-1～資料10-2】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度の部局間学術交流協定・学生交流覚書の新規締結および更新について報告があった。

(9) オンライン国際シンポジウムの開催について【資料11-1～資料11-2】

藤山委員長から、配付資料に基づき、令和6年度に開催および今年度内に開催予定のオンライン国際シンポジウムについて報告があった。

4. センターの組織について【資料12】

藤山委員長から、配付資料に基づき、センタースタッフ及び事務スタッフについて報告があった。

5. 評価委員会委員の再任について【資料13】

藤山委員長から、配付資料に基づき、次期委員の再任について報告があった。

また、あわせて2025年4月1日より、生物工学国際交流センターのセンター長が藤山教授から本田教授に交代するに伴い、評価委員会の委員長も本田孝祐教授に変更となる旨報告があった。

6. その他

上記報告事項について、質疑応答及び種々意見交換を行った。

これらを踏まえて各委員が後日「評価書」に必要事項を記入の上、提出することとした。

以 上